

会社の概要 (平成27年9月30日現在)

商号 日本山村硝子株式会社(Nihon Yamamura Glass Co.,Ltd.)
 本社所在地 関西本社 兵庫県尼崎市西向島町15-1 電話 06-4300-6000(代表)
 東京本社 東京都新宿区西新宿6-14-1 電話 03-3349-7200(代表)
 新宿グリーンタワービル20階
 創業 大正3年4月5日
 設立 昭和16年12月11日
 資本金 140億7,496万5,448円
 従業員数 797名
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)
 会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

大株主の状況

株主名	所有株式数	所有株式比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	10,190千株	9.14%
株式会社三井住友銀行	4,252	3.81
日本山村硝子取引先持株会	3,865	3.46
旭硝子株式会社	3,836	3.44
クレディスイスルクセンブルグ エスエー オンビハーフオブ クライアツツ	3,447	3.09
グリアストリーム パンキング エス エー	3,250	2.91
山村幸治	3,047	2.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,962	2.65
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,944	2.64
日本生命保険相互会社	2,842	2.55

(注)1. 当社は、平成27年9月30日現在、自己株式6,476千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数には、信託業務にかかる持株数が含まれております。
 3. 所有株式数は、表示単位で切捨て表示しております。

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数 300,000千株
 発行済株式の総数 111,452千株
 株主数 9,511名
 単元株式数 1,000株

所有者別株式分布状況

	株主数	所有株式数
個人・その他	9,110名	39,088千株
金融機関	32	28,113
事業会社・その他法人	276	21,659
外国法人・外国人	92	16,114
自己株式	1	6,476
合計	9,511名	111,452千株



役員 (平成27年9月30日現在)

取締役・監査役
 代表取締役社長 山村 幸治 (最高経営責任者 最高執行責任者)
 専務取締役 谷上 嘉規 (環境経営学 コーポレート本部専掌 研究開発センター専掌 ニューガラスカンパニー専掌)
 取締役 上高 雄樹 (サンミグル山村パッケージング社駐在(同社取締役副社長))
 取締役 井上 善雄 (株式会社巴川製紙所 代表取締役社長(社外取締役・独立役員))
 常勤監査役 鈴木 仁
 常勤監査役 鳥居 豊彦
 監査役 鳥山 半六 (弁護士(社外監査役・独立役員))
 監査役 齋藤 好江 (公認会計士(社外監査役・独立役員))

執行役員
 執行役員 明神 裕 (ガラスびんカンパニー社長)
 執行役員 神田 信一 (ガラスびんカンパニー 営業本部長)
 執行役員 植田 光夫 (ガラスびんカンパニー 生産本部長)
 執行役員 小林 史吉 (プラスチックカンパニー社長)



証券コード(5210)

株主のみなさまへ

第2四半期 第87期 決算ご報告

平成27年4月1日～平成27年9月30日

日本山村硝子株式会社

http://www.yamamura.co.jp/

中間配当に関する取締役会決議のお知らせにつきましては、当社ホームページにてご案内させていただきます。ご確認くださいませようお願い申し上げます。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領日	3月31日
中間配当金受領日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
同連絡先	東京証券取引所
上場証券取引所	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.yamamura.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で行うこととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*) 	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

(*)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

株主のみなさまへ

第2四半期決算ご報告および中間配当金関係書類送付ご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 さて、当社およびグループ各社(以下、当社グループと称します。)の第87期第2四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の事業の概況をここにご報告申し上げます。
 また、「第87期中間配当金のお支払い」に関する書類も同封させていただきます。
 ご査収くださいますようお願い申し上げます。

敬具
 平成27年12月

中間配当金のお支払いについて
 中間配当金の払渡期間は平成27年12月2日(水)から平成28年1月4日(月)まででございます。同封の「中間配当金領収書」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店ならびに郵便局で、お忘れなくお受け取りくださいますようお願い申し上げます。
 なお、口座振込ご指定の方には、「中間配当金計算書」および「配当金振込先のご確認書」を同封しておりますので、ご指定口座への入金をご確認ください。



代表取締役社長 山村幸治



この決算ご報告はFSC®認証紙と大豆油インキを使用して印刷しております。

売上高
36,162百万円

●ガラスびん関連事業では、秦皇島方圓包装玻璃有限公(Yamamura Glass Qinhuangdao以下、[YGQ]という。)の中国国外への出荷が順調に推移し増収となりましたが、プラスチック容器関連事業において、前期にペットボトル事業から撤退した影響があり、売上高は36,162百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

営業利益
836百万円

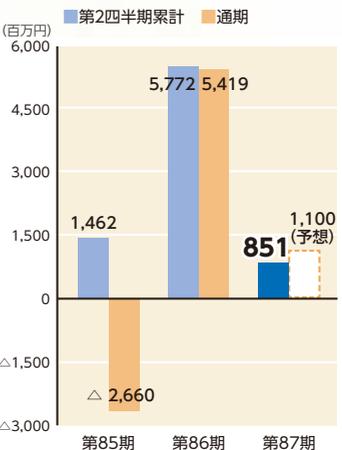
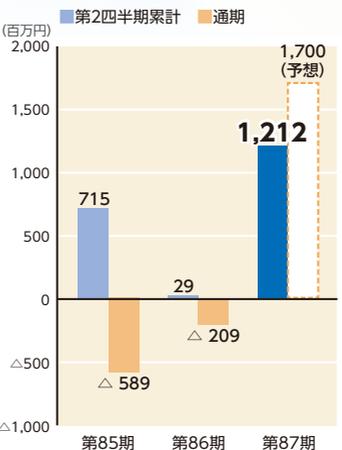
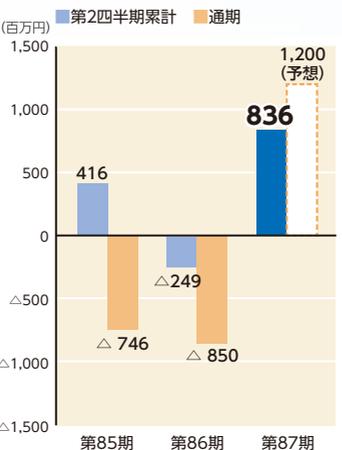
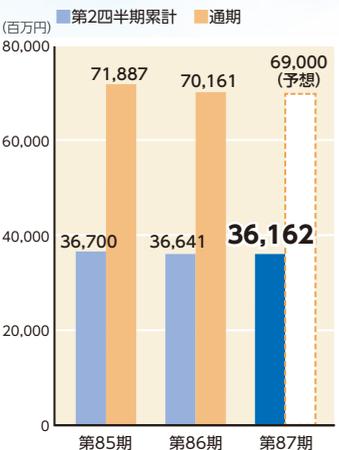
●ガラスびん関連事業では、国内燃料価格が安定したことやYGQの増収による増益効果等があり、また、プラスチック容器関連事業では、不採算であったペットボトル事業からの撤退による損益改善や原料価格が安定したこと等により、営業利益は836百万円(前年同期△249百万円)と黒字に転換しました。

経常利益
1,212百万円

●持分法による投資利益は596百万円(前年同期比89.8%増)と増益となりましたので、経常利益は1,212百万円(前年同期比3,977.7%増)と大幅な増益となりました。

当期純利益
851百万円

●前年同期は特別利益に固定資産売却益等を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は851百万円(前年同期比85.3%減)となりました。

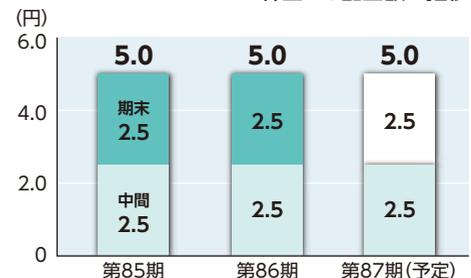


利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、利益の配分につきましては、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、海外への事業展開や成長事業への投資計画、財政状態等を総合的に勘案しながら、積極的に株主のみならず、みなさまへの利益還元を努めていきたいと考えております。

これらの方針と業績を総合的に勘案し、当期(平成28年3月期)の剰余金の配当につきましては、中間配当金を1株につき2.5円とし、期末配当金2.5円と合わせ、通期で5.0円とさせていただきます。

1株当たり配当額の推移



TOPICS

「ガラスの作品ドリームコンテスト」の開催

8月18日から9月14日の応募期間で、今年も「ガラスの作品ドリームコンテスト」を開催しました。「大好きなひとへのプレゼント」と「夏の思い出」の2部門を設定し、今回も多くの楽しい応募作品が集まりました。

受賞者には、当社ガラス工房やまむらの特製ガラス製品などが贈られました。



「エコキッズメッセ2015」に出展

10月10日、尼崎の森中央緑地(兵庫県尼崎市)で開催された「エコキッズメッセ2015」に出展し、ガラスびんの3Rに関する体験イベントを実施しました。

当社ブースでは、ガラスびんの3Rについてのポスターや超軽量びん、エコロジーボトルなどのサンプルびんの展示や、家庭から排出されるびんの分別方法についての紙芝居、カレットと異物を分ける選別体験、選別を終えたカレットを使ってのオブジェ作りなど、いずれも好評を博しました。



「39th ASEAN Glass Conference」でNOx低減技術開発を発表

10月19日～22日 フィリピン・セブで開催された「39th ASEAN Glass Conference」で、当社から「New NOx Removal Process from Exhaust Gas in Glass Furnace」というテーマで発表を行いました。

この技術は新たなNOx低減技術になるものとして開発に着手し、2014年5月には大阪府立大学と共同で開発に成功したことをプレスリリースしました。その後も実用化を目指してさらに研究開発を進めています。

当社は環境マネジメントシステムの維持管理だけでなく、環境技術の開発にも力を入れています。

